

## 防災訓練実施結果報告書の要旨

川内原子力発電所における総合訓練（複数の訓練を組み合わせて行う訓練）

訓練実施日	平成28年9月9日																		
参加人数	532名（協力会社68名、他電力5名を含む）																		
想定した原子力災害の概要	<p>1, 2号機で原子力災害対策特別措置法（原災法）第15条事象に至る原子力災害を想定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1, 2号機は、定格熱出力一定運転中の地震発生により、外部電源が喪失するとともに、原子炉が自動停止</li> <li>・ 1, 2号機で原子炉冷却材の漏えい発生後、全交流動力電源が喪失したことにより、原子炉の冷却機能を喪失</li> </ul>																		
訓練の内容	<p>以下の項目を「シナリオ非提示」にて実施</p> <table border="0"> <tr> <td><b>【発電所】</b></td> <td><b>【本店即応センター】</b></td> </tr> <tr> <td>(1) アシメントマシント(M)訓練</td> <td>(1) 通報訓練</td> </tr> <tr> <td>(2) 緊急時対応訓練</td> <td>(2) 緊急事態支援組織対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(3) 通報訓練</td> <td>(3) 原子力防災要員等の動員訓練</td> </tr> <tr> <td>(4) モニタリング訓練</td> <td>(4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練</td> </tr> <tr> <td>(5) 避難誘導訓練</td> <td>(5) 発電所支援対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(6) 原子力災害医療訓練</td> <td>(6) プレス対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(7) 原子力防災要員等の動員訓練</td> <td>(7) 住民避難支援対応訓練</td> </tr> <tr> <td>(8) オフサイトセンター連携訓練</td> <td></td> </tr> </table> <p><b>【後方支援拠点】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現地設置運営訓練</li> <li>(2) 発電所支援に係る本店との連携訓練</li> </ul>	<b>【発電所】</b>	<b>【本店即応センター】</b>	(1) アシメントマシント(M)訓練	(1) 通報訓練	(2) 緊急時対応訓練	(2) 緊急事態支援組織対応訓練	(3) 通報訓練	(3) 原子力防災要員等の動員訓練	(4) モニタリング訓練	(4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練	(5) 避難誘導訓練	(5) 発電所支援対応訓練	(6) 原子力災害医療訓練	(6) プレス対応訓練	(7) 原子力防災要員等の動員訓練	(7) 住民避難支援対応訓練	(8) オフサイトセンター連携訓練	
<b>【発電所】</b>	<b>【本店即応センター】</b>																		
(1) アシメントマシント(M)訓練	(1) 通報訓練																		
(2) 緊急時対応訓練	(2) 緊急事態支援組織対応訓練																		
(3) 通報訓練	(3) 原子力防災要員等の動員訓練																		
(4) モニタリング訓練	(4) 原子力事業者間協力協定に基づく支援連携訓練																		
(5) 避難誘導訓練	(5) 発電所支援対応訓練																		
(6) 原子力災害医療訓練	(6) プレス対応訓練																		
(7) 原子力防災要員等の動員訓練	(7) 住民避難支援対応訓練																		
(8) オフサイトセンター連携訓練																			
訓練の評価	<p>中期計画に基づいた訓練計画の策定及び訓練の実施により、継続的な防災対応能力が向上していることを確認</p> <p>発電所、本店、後方支援拠点及び各支社が連携し、原子力災害発生時に原子力防災組織及び本店原子力防災組織があらかじめ定められた機能を有効に発揮できることを確認 また、住民避難支援対応や他電力との連携活動ができることを確認</p> <p>昨年度訓練から改善を図った事項が有効に機能することを確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発電所で作成する可搬設備等の準備状況などを整理した「実施状況シート」について、ERCへの迅速な情報提供となるよう、作成タイミング等について検討する</li> <li>「実施状況シート」を作成するタイミングを、30分毎から、機器状態変化の都度に作成するよう運用を改善し、迅速な情報共有に寄与できることを確認</li> <li>・ 複数号機同時発災時には、「実施状況シート」等に号機毎の色による識別を行い、視認性の向上を図る</li> <li>発電所対策本部で掲示する号機毎の「実施状況シート」等の掲示物について、1号機、2号機の色による識別管理を行うことにより視認性の向上を図れることを確認</li> </ul>																		
今後に向けた改善点等	<p>より一層の充実を図る観点から、今後の訓練に反映する主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ERCへの事象発生に対する迅速な連絡と事象進展予測の情報共有について、一部、更なる改善を検討する</li> <li>・ 代替緊急時対策所内において所内放送による指示の内容の共有が確実となるよう、音量調整を実施する</li> </ul>																		

川内原子力発電所における要素訓練（作業手順の習熟を図る個々の訓練）

・対象期間：平成28年4月1日～平成28年11月30日

項目	実施日	参加人数	訓練の概要	今後に向けた改善点
緊急時 対応訓練	平成28年 8月17日 ～19日、 8月22日	90名	発電所にて全交流動力電源が喪失したことを想定し、重大事故時における緊急時対応訓練を実施	・今後も、訓練において状況を確認し、更なる改善を検討していく
モニタリング 訓練	平成28年 7月20日	14名	○緊急時モニタリング（放射性物質濃度、放射線量の測定等）に係る対応能力の向上を図る	・今後も、訓練において状況を確認し、更なる改善を検討していく
避難誘導訓練	平成28年 8月31日	205名	○見学者来訪時に緊急事態が発生したことを想定し、関係者への迅速な連絡ができることを確認 緊急時体制発令時の対策要員以外の所員及び作業員（協力会社）に対し、避難の周知及び避難誘導が迅速かつ確実にできることを確認	・今後も、訓練において状況を確認し、更なる改善を検討していく
原子力災害 医療訓練	平成28年 9月16日	22名	管理区域内で負傷者が発生したことを想定し、負傷者の搬出、汚染の除去及び応急措置等の訓練を実施	・退域時検査及び管理区域内からの負傷者搬出時の要員の負担軽減及びより安全作業ができるよう、対応要員数について検討する

以上